

設置概要

名称	長浜バイオ大学大学院 バイオサイエンス研究科 バイオサイエンス専攻
設置形態	区分制博士課程
設置課程	博士課程前期課程 博士課程後期課程
学位名称	修士(バイオサイエンス) 博士(バイオサイエンス)
入学定員	博士課程前期課程 36名 博士課程後期課程 5名



長浜バイオ大学 大学院

Guide Book 2027

大学院バイオサイエンス研究科

博士課程前期課程

博士課程後期課程

時刻表・登校時のダイヤ

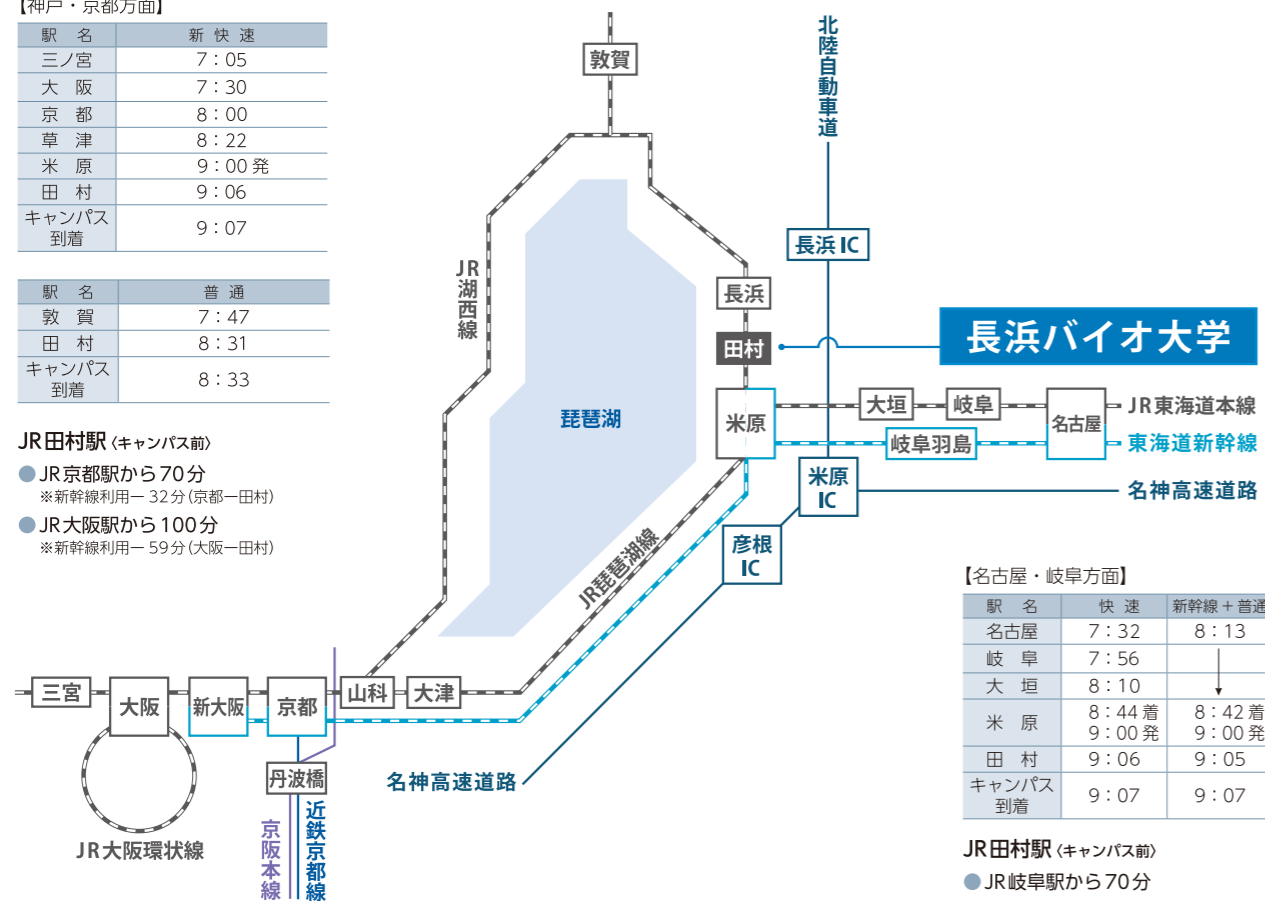
【神戸・京都方面】

駅名	新快速
三ノ宮	7:05
大阪	7:30
京都	8:00
草津	8:22
米原	9:00 発
田村	9:06
キャンパス到着	9:07

駅名	普通
敦賀	7:47
田村	8:31
キャンパス到着	8:33

JR田村駅(キャンパス前)

- JR京都駅から70分
※新幹線利用—32分(京都—田村)
- JR大阪駅から100分
※新幹線利用—59分(大阪—田村)



【名古屋・岐阜方面】

駅名	快速	新幹線+普通
名古屋	7:32	8:13
岐阜	7:56	
大垣	8:10	
米原	8:44 着 9:00 発	8:42 着 9:00 発
田村	9:06	9:05
キャンパス到着	9:07	9:07

JR田村駅(キャンパス前)

- JR岐阜駅から70分
- JR名古屋駅から100分
※新幹線利用—48分(名古屋—田村)

n·bio
長浜バイオ大学大学院
Graduate School of Bioscience
Nagahama Institute of Bio-Science and Technology

お問合せ先 長浜バイオ大学大学院

〒526-0829 滋賀県長浜市田村町1266番地 E-mail nyushi@nagahama-i-bio.ac.jp
TEL 0749-64-8116 FAX 0749-64-8140 URL https://www.nagahama-i-bio.ac.jp

バイオのトップランナー

n·bio Graduate School of Bioscience
長浜バイオ大学大学院

世界の未来を切り拓く バイオ技術・研究者を めざそう

大学も大学院も大きな変化を求められる時代となりました。研究・開発職などの専門的な職業に就くためには大学院進学が事実上必須条件となり、企業が最低でも修士(マスター)の学位を要求することは常識となりつつあります。

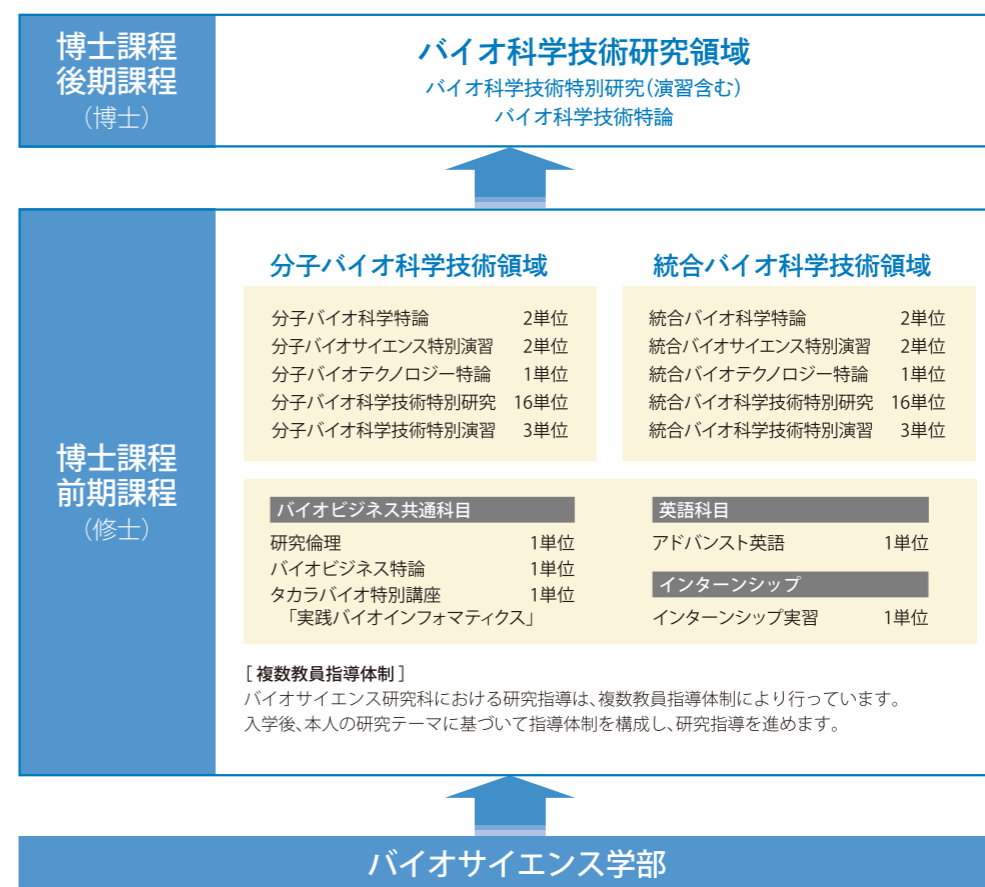
一方で生成AIの登場によって、「知識を単純利用するルーチンワーク」は将来的にAIに置き換えられるという予測もあります。しかし現状では「知識を生産・統合する非ルーチンワーク = 研究」は、簡単にはAIに置き換えられないと考えられています。我が国も理系研究の促進を成長戦略ととらえて、さまざまな政策を施そうとしていますが、諸外国と比べて理系大学院の進学率は低下する傾向にあることが問題とされています。

おそらく今後、研究職のイメージは大きく変わり、どんな職業もある程度まで「研究者マインド」と「研究者スキル」を要求される時代になるように思います。

本学の大学院も、高い研究レベルを維持し、そのために必要な(今後激変すると予想される)スキルを最も効果的に修得するために、大学院のカリキュラムやシステムを変革して行く必要があります。ぜひみなさんも、大学院に進んで学者になるという古いイメージではなく、次世代に要求される基本スキルを身につけるといった視点から、大学院進学を検討してみてください。

長浜バイオ大学大学院
研究科長 白井 剛

バイオサイエンス研究科 バイオサイエンス専攻



タカラバイオ連携大学院

大学と企業の研究機関が協力して大学院教育を行うため、2013年2月、タカラバイオ株式会社との間で教育研究に関する協定を結びました。学外の高度な研究水準の研究者を大学の客員教授として迎え、また、タカラバイオ株式会社の施設・設備を活用し大学院生の研究指導を行うという方法により実施します。

長浜バイオ大学大学院バイオサイエンス研究科バイオサイエンス専攻博士課程前期課程において、タカラバイオ連携大学院への希望者を募ります。

先輩が語る、大学院進学 の志



ゲンミーアイン さん
博士課程前期課程
分子バイオ科学技術領域

PMEL17線維化とチロシナーゼを同時に抑制する新規美白成分の探索

分子レベルの研究で美白化粧品の可能性を拓く

化粧品の研究に興味を持ち、大学院への進学を決めました。現在は、メラニン生成に関わるPMEL17とチロシナーゼという二つの因子に着目し、同時に作用を抑える新規化合物の探索に取り組んでいます。合成した化合物がPMEL17の線維化とチロシナーゼの両方に対してどのような抑制活性を示すかを実験で評価しながら、より効果的な化合物の探索・設計を進めています。思うような結果が得られないこともありますが、試行錯誤を重ねる中で粘り強く考える力が身につきました。少人数制で相談しやすい環境のもと、研究成果を次の分子設計へとつなげ、安心して使ってもらえる美白化粧品の開発に少しでも貢献できればと考えています。



篠田 和虎 さん
博士課程前期課程
統合バイオ科学技術領域

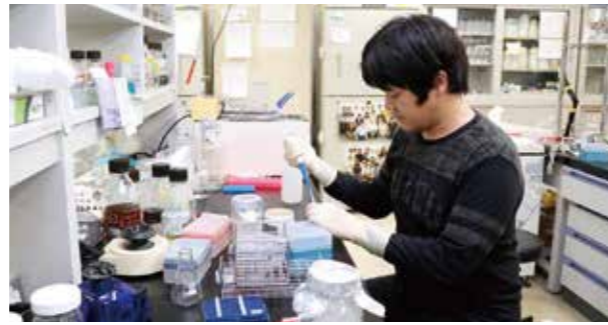
FUSの見かけの分子量変化に関する生物種間比較解析とその要因についての検証

独自のアプローチで認知症解明の希望を見いだす

認知症の解明に貢献したいという思いから、神経変性疾患[※]に関わるタンパク質「FUS」に注目して研究しています。私が所属する研究室では、ヒトのFUSが特有の変化を起こすことを発見。この変化が異常なタンパク質のかたまりを作り、神経細胞の動きを妨げているのではないかと考えています。変化の原因と仕組みを明らかにするため、独自のアプローチとしてメダカのFUSと比較した結果、ヒトのFUSと似た性質を持つことが明らかになりました。今後は対象をニワトリにも広げて検証し、まだ治療法のない病気の治療薬開発に役立てることをめざして研究に取り組んでいます。

[※]脳や脊髄の神経細胞が原因不明の要因で徐々に失われ、運動機能や認知機能に障害が起こる進行性の病気。

医療や地域の発展並びに 持続可能な社会の形成に 貢献しうる人材を育成



設置趣旨

21世紀は、新しい知識・情報・科学技術が活動の基盤として重要性を増す、「知識基盤社会(knowledge-based society)」の時代です。「知識基盤社会」へ移行するために大学院の基盤を強化し、『科学技術創造立国』の形成に資する優れた人材を育成することが、緊急かつ最重要な課題となっています。

大学院における人材育成機能を強化するために、大学院博士前期(修士)・後期(博士)課程における教育と研究の強化一すなわち大学院教育の実質化を図って「魅力ある教育」を実践していくことが、これからの科学技術社会において求められます。特に、バイオ分野は、幸せで健康な長寿社会と持続可能な社会の実現に、中心的な役割を担うことが期待されています。

こうした社会からの要請や期待に応え、未来を切り拓く人材を育成し、バイオサイエンス・バイオテクノロジー分野での研究成果の産業化を促進し、医療や地域の発展並びに持続可能な社会の形成に貢献することを目的として、本学は、大学院バイオサイエンス研究科バイオサイエンス専攻(博士課程前期課程及び後期課程)を2007年4月に設置しました。

入学者受入方針(アドミッションポリシー)

21世紀の人類には、安全で持続的な食料の確保、全ゲノム解読時代の到来に基づく新たな医療の展開、旺盛な社会活動からの環境保全と生態系の保持などの幾多の問題が提起されている。このような問題の解決に向けたバイオサイエンス・バイオテクノロジー分野での学問基盤を進展させると共に、その研究成果の産業化を促進し、医療や地域の発展並びに持続可能な社会の形成に貢献しうる人材を受け入れる。

博士課程前期課程

バイオサイエンス研究科の理念に賛同し、以下の資質を備えた人物の入学を広く求める。

- 1 本研究科における教育と研究を理解・習得するために必要な学力を持ち、学習研究意欲を有する。
- 2 バイオサイエンス・バイオテクノロジー分野における学問的発展に寄与し、社会的使命や社会貢献を果たすために必要な専門知識、応用力、実践力などの習得に意欲を持つ。
- 3 本研究科における教育研究成果を世界で役立てるための語学力とコミュニケーション力を習得する意欲と能力がある。

博士課程後期課程

バイオサイエンスとその関連分野において、自立した研究者として大学や企業、研究所などで広く社会に貢献するという強い意欲を持ち、以下の資質を備えた人物の入学を広く求める。

- 1 バイオサイエンス・バイオテクノロジー分野において高い専門知識と技術を身に付けており、みずから研究を立案し遂行できる実践力を持つ。
- 2 研究者、技術者としての使命感及び倫理観を有し、豊かで深い人間性とリーダーシップを身に付けている。
- 3 バイオサイエンス・バイオテクノロジー分野の技術と基礎知識に関して、その創造的発展に意欲的に取り組むことができる。
- 4 国際化に対応した語学力とコミュニケーション能力を有し、学術的・技術的な国際交流の発展に貢献できる。

学位授与方針(ディプロマポリシー)

博士課程前期課程

バイオサイエンスの知識に裏打ちされた問題発見解決能力と自然に対する崇高な倫理観を持ち、社会を支え国際社会でも活躍しうる能力を身につけていることを学位授与方針とする。この様な観点から、バイオサイエンス研究科博士課程前期課程に所定の期間在学し、30単位以上を修得することに加え、修了要件を満たした上で、以下の条件に適った学生に修士(バイオサイエンス)の学位を授与する。

- 1 バイオサイエンス・バイオテクノロジー分野の高度な専門知識・技術を習得しており、高い生命倫理と科学者倫理を兼ね備えている。
- 2 研究の目的と背景を理解し、問題の分析と課題の発見ができ、課題の解決方法を見いだすことができる。
- 3 自らの研究成果を明解に説明できるプレゼンテーション能力を持つと共に、国際化に対応できるコミュニケーション能力を習得している。
- 4 分子バイオ科学技術特別研究または統合バイオ科学技術特別研究の成果を修士論文として提出後、論文審査に合格している。

修了要件

博士課程前期課程(標準修業年限2年)

- 1 修了要件単位数:以下の条件を満たし、合計30単位以上
 - ① 所属領域の専攻科目24単位
 - ② 所属外領域の特論(講義)、特論(集中講義)3単位
 - ③ バイオ・ビジネス共通科目より2単位
 - ④ 英語科目1単位
- 2 前期課程(修士課程)を修了するためには上記の単位を修得するとともに、前期課程(修士課程)に在籍する期間内において次のアを満たし、イからオの項目の中から1項目以上を満たさなければならない。
 - ア 入学当初作成した研究計画書に加え、学内の修士論文中間報告会で発表を行い、助言を受けたことを考慮し今後の研究計画書を提出する。
 - イ 国内外の学会、研究会等で筆頭著者として報告する。
 - ウ 本学で開催されるバイオセミナー、学内外で開催される学会研究会等に参加し、それに対するレポートを5報以上提出する。
 - エ 国内外の学術雑誌などへの論文の掲載、または、特許発明者となること(共同著者、及び共同発明者を含む)。
 - オ TOEICで600点以上を獲得する。TOEFLやその他の試験の得点については適宜換算して評価する。

博士課程後期課程

バイオサイエンス・バイオテクノロジー分野における高度な知識と技術を習得し、人々の福祉と幸福の向上に貢献する様々な分野で指導的役割を担うことのできる高い能力を身につけていることを学位授与方針とする。この様な観点から、バイオサイエンス研究科博士課程後期課程に所定の期間在学し、11単位以上を修得することに加え、修了要件を満たした上で、以下の条件に適った学生に博士(バイオサイエンス)の学位を授与する。

- 1 きわめて高度なバイオサイエンス・バイオテクノロジー分野の専門知識・技術を習得し、それらを生かしてみずから独創的な課題を設定・展開でき、その成果を学術論文にまとめる能力を身に付けている。
- 2 生命倫理と科学者倫理を身に付け、幅広い学術分野での高い見識を有し、豊かで深い人間性を持つと共に、人々の福祉の向上のための新技術の開発などの分野で指導的役割を担うことができる。
- 3 高度な論理的文章力、プレゼンテーション能力およびコミュニケーション能力を有する。
- 4 バイオ科学技術特別研究(演習含む)の成果を博士論文として提出後、論文審査に合格している。

博士課程後期課程(標準修業年限3年)

- 1 設置科目(単位数11)の単位を修得するとともに、次の項目を全て満たさなければならない。
 - ア 入学当初作成した研究計画書に加え、学内の博士論文中間報告会で2回以上発表を行い、受けた助言を考慮し今後の研究計画書を提出する。
 - イ 学内の研究報告会で2回以上発表を行う(夏期に指定された日時で実施する。発表(10分発表、5分質疑応答)を英語で行う)。
 - ウ 学内外で開催される学会、研究会等に参加し、それに対するレポートを5報以上提出する。





科学技術領域の紹介

前期 課程

▶ 博士課程前期課程 分子バイオ科学技術領域

高次の生命現象を分子レベルで解析することで、その基本原理や複雑な機能を根本的に理解し、これらをバイオ技術として生かすための教育・研究を行います。

生物の成り立ちを分子レベルで理解するために、遺伝情報の解析とその情報処理技術、ゲノム情報からタンパク質の機能予測およびその医療・創薬への応用技術、プロテオームやメタボロームなどの網羅的解析技術、遺伝子工学やケミカル

バイオロジーなどの新しい技術と共に、外国語によるコミュニケーション技術や生命倫理・科学者倫理に関する教育を行います。

この様な教育・研究を通して、生命現象に関する多くの命題に対して分子レベルでの研究に貢献でき、人類や地球環境のために役立つ応用技術を開発できる人材を育成します。

▶ 博士課程前期課程 統合バイオ科学技術領域

さまざまな生命現象を統合的に理解するために、生物個体や細胞の機能について分子生物学、生化学、細胞生物学、生理学あるいは生態学などの観点から教育・研究を行います。

生命現象を統合的に理解するために、生命機能を司る生体分子をバイオサイエンスの技術を用いて改変し、新しい機能を持つ生体分子を創出する技術や、高度に分化した細胞の機能を細胞工学と微細構造解析を用いて解析する技術、ま

た情報伝達や免疫機構を動植物の個体レベルで研究する技術、環境における生物の多様な生態系をさまざまな研究手法で解析する技術と共に、外国語によるコミュニケーション技術や生命倫理・科学者倫理に関する教育を行います。

この様な教育・研究を通して、さまざまな生命活動を統合的に理解し、生命活動の機構解明に貢献する人材や人類に役立つバイオ技術を開発する人材を育成します。



科学技術領域の紹介

後期 課程

▶ 博士課程後期課程 バイオ科学技術研究領域

バイオサイエンス領域の諸分野を深く理解するための教育・研究に重点をおき、生命現象の普遍性原理の追求と人類社会の進歩発展に貢献する研究者、技術者および教育者の育成を目的とします。

そのために、研究科に所属する教員のリレー講義を実施するとともに、高い外国語の能力を習得するための教育と深い生命倫理・科学者倫理に関する教育を行います。加えて、高度な研究と博士論文執筆につながるきめ細やかな研究指導を行います。



研究支援制度の紹介

● 学会参加費等補助金制度

大学院博士課程を修了する学生は、より高い知識と研究能力を持ち、社会における高い競争力を修得する必要があるため、修了要件として学会等への参加が含まれています。本学では、より多くの学会等への参加を奨励するため学会参加費等補助金を設けています。在籍期間中、前期課程学生は40,000円、後期課程学生は60,000円を上限に、学会参加に必要な旅費、参加費等、宿泊費として支給します。

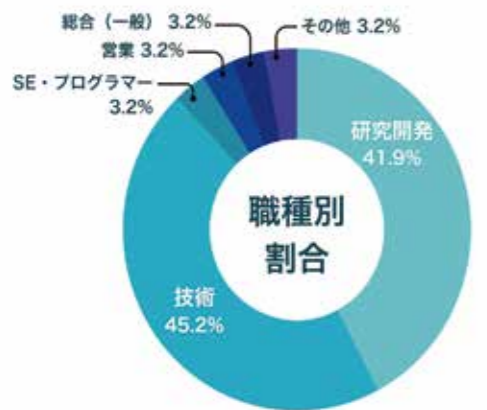
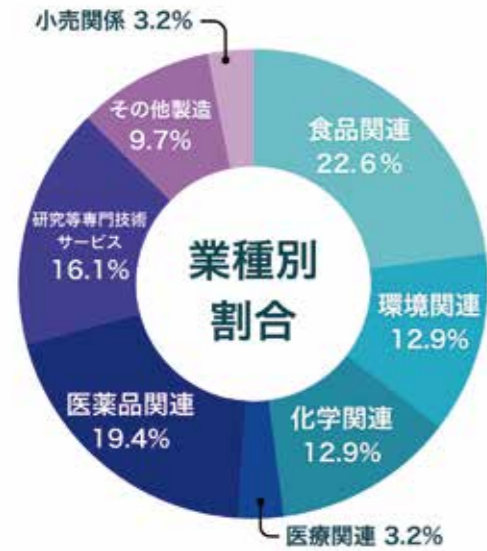
● 英語学術論文投稿支援制度

後期課程学生が、英語等の外国語による研究論文を査読付き英文学術雑誌等に投稿する際に必要となる経費を支援します。後期課程在籍期間中、100,000円を上限に、英文校正、投稿費、別刷代等を支給します。

修了生の進路

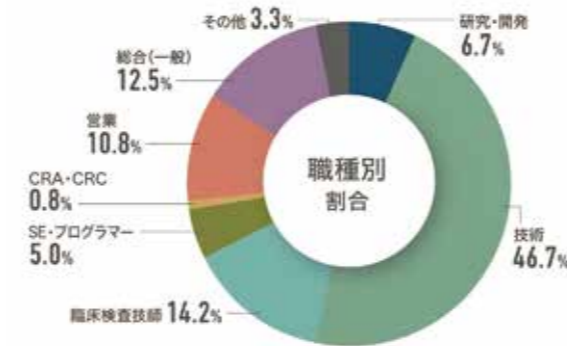
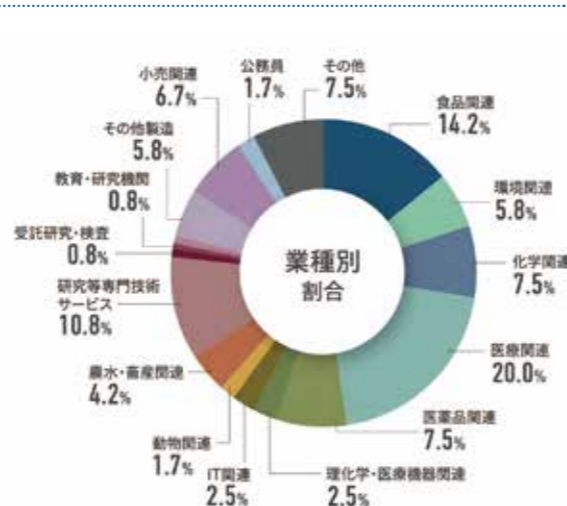
〔大学院修了生〕

2024年度修了生



〔学部卒業生〕

2024年度卒業生



2024年度卒業生の就職内定率は97.6%で、食品・医療・環境・化学分野の企業をはじめ、合計15,000社以上からの求人がありました。

修了生の主な就職先(50音別/敬称略)

医薬品関連

(株) IDファーマ / iPSアカデミアジャパン (株) / イーピーエス (株) / (株) イナリサーチ / (株) 大阪合成有機化学研究所 / 大原薬品工業 (株) / 京都薬品工業 (株) / 協和発酵バイオ (株) / 皇漢堂製薬 (株) / 佐藤薬品工業 (株) / 参天製薬 (株) / (株) サンブラネット / (株) 三和化学研究所 / シミック (株) / シミックファーマサイエンス (株) / (株) ジャパン・ティッシュエンジニアリング / (株) 新日本科学 / 東光薬品工業 (株) / (株) 日本バイオリサーチセンター / マルホ (株) / Minaris Regenerative Medicine (株) / リードケミカル (株)

医療関連

H.U.グループ / (医) 木下レディースクリニック / シミックヘルスケア・インスティテュート (株) / (地独) 宮城県立病院機構 宮城県立がんセンター / (株) メディック / (医) リプロダクションクリニック 大阪

環境関連

アイテック (株) / アジア航測 (株) / いであ (株) / イビデンエンジニアリング (株)

大学院生への就職活動支援

大学院生を対象にした企業の採用選考は、学部学生とほぼ同様のスケジュールで進められるため、就職希望者は修了前年度の後期から準備を進める必要があります。「就職・キャリアサポートセンター」にて、就職・キャリア担当スタッフとキャリアカウンセラーによる個別相談を中心に、一人ひとりの就職活

動への全面サポートを行っています。また、大学院生向け「就活支援講座」を開講し、業界・企業・職種研究をはじめ、筆記試験対策や履歴書・エントリーシート対策、面接対策など、就職活動準備のためのプログラムや個別テーマでの講座など、多彩な支援メニューを用意しています。

食品関連

アピ (株) / 九鬼産業 (株) / 仙波糖化工業 (株) / (株) チェリオコーポレーション / (株) チェリオ中部 / チョーヤ梅酒 (株) / スジャータめいらくグループ / (株) ピックルスココーポレーション 関西 / ホクト (株) / (株) Mizkan / 森永乳業 (株) / 山芳製菓 (株) / (株) 雪国まいたけ

農水・畜産関連

(株) アルプスアグリキャリア / 揖斐川工業 (株) / タキイ種苗 (株) / ベルグアース (株) / 農業生産法人わかば農園 (株)

IT関連

インフォコム (株) / (株) NSD / (株) 大塚商会 / (株) ソフトウェア・サービス / TIS (株) / 富士ソフト (株) / 三井情報 (株)

その他

(株) アークレイファクトリー / アドバンテック (株) / (独) 医薬基盤研究所 / (株) 高研 / 新江州 (株) / WDB (株) エウレカ社 / 丹波市役所 / (大) 福島県立医科大学 / 森久保薬品 (株)

／関西産業 (株) / 近畿技術コンサルタント (株) / (株) シー・アイ・シー / 新日本環境調査 (株) / (株) 静環検査センター / 帝人エコ・サイエンス (株) / 夏原工業 (株) / 日本物理探鑑 (株) / パナソニック環境エンジニアリング (株) / (株) BML フード・サイエンス / (株) 日吉 / (有) プラネット・コンサルティングネットワーク / (株) 緑生研究所

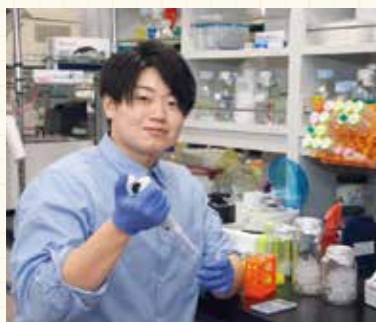
受託研究・検査

(株) JTクリエイティブサービス / (株) 生活品質科学研究所 / 日本原燃分析 (株) / (株) 日本予防医学研究所 / (株) ハウス食品分析テクノサービス / (株) 浜松ファーマリサーチ / (株) ペプチド研究所

化学関連

天野エンザイム (株) / 一丸ファルコス (株) / (株) ENEOS NUC / (株) クボタケミックス / クラレプラスチックス (株) / 神戸合成 (株) / サラヤ (株) / 塩野香料 (株) / (株) シャンソン化粧品 / タカラバイオ (株) / 東洋ビューティ (株) / 日本コルマー (株) / 浜理薬品工業 (株) / 富士フィルム和光純薬 (株)

修了者のコメント



澤藤 優和 さん
マルハニチロ株式会社に就職
2023年度博士課程前期課程修了

幼いころから食べることに、料理することが大好きだった私は食品業界が第一志望。大学院でも食品分子機能学研究室の河内浩行先生のもと、細胞とマウスを用いて身の回りにある食材からメタボリックシンドロームの改善につながる成分を見つけだす研究に没頭しました。

数ある食品メーカーの中でもマルハニチロは水産事業のイメージが強いのですが、近年では畜産事業やスイーツの開発にも手を伸ばし、総合食品メーカーとして歩みだそうとしています。この会社なら、あらゆる方面から食に対するアプローチができるだろうと考えました。

食品業界はネームバリューのある企業も多く、競争率がとても高いところ。その中で勝ち抜くためには、情報収集力と行動力が大切。実際に売り場に行き商品を見たり、食べたりするのはもちろん、商品の改善点まで指摘できれば、きっと面接官も「よく調べているね」と評価して下さいます。

私は大学院生として自らの研究を説明する機会も多く、普段から論理的でわかりやすく話すように心がけていました。それが面接でも十分に生かされたのだと思います。さらには研究活動で培った知識は商品開発だけでなく、総合職に配属された場合でも、論理的な言語力にプラスして説得力のある商談に役立つと考えています。



阪本 百合香 さん
株式会社日立ソリューションズ・クリエイトに就職
2023年度博士課程前期課程修了

昔からコンピュータが好きだったので、就職先はIT業界一本と考えていました。しかし、大学での学びを通じて、疾患などの原因を明確に突き止める遺伝子解析のおもしろさに惹かれ、さらに研究を続けてみたいと大学院への進学を決意しました。

そもそも私は好奇心が強いほうだと思います。実際の就活ではIT業界だけでなく、化粧品会社や食品会社、さらには修士の資格を生かして弁理士にも興味を持つようになりました。結果的にシステムやソフトウェアの開発・運用をサポートする日立ソリューションズ・クリエイトに内定をいただきましたが、ほかの業界を見たことで「やっぱりコンピュータが好き」と気づけたことはとても大きかったと思います。

ただ、内定先の企業では大学院での学びが100%生かせるわけではありません。そこで悩みもりましたが、これまでの研究活動で何度もトライ&エラーを乗り越えてきたことは、必ず社会に出た後も生きてくると信じています。しかも今の時代は転職の可能性も十分にありえます。コンピュータという汎用性の高い分野から、また専門的な遺伝子解析に携わるかもしれません。大学院はこれからの長い人生を歩むため、しっかりと視野を広げる場所だと思います。

多彩な研究室

(2026年度現在)

分子バイオ科学技術領域
統合バイオ科学技術領域

進化ゲノム学研究室



大島 一彦 教授

キーワード

キメラ遺伝子、転移因子、ゲノム進化

生物の進化を解明するうえで重要な「新しい遺伝子の誕生のメカニズム」について、実験やコンピュータを使った解析を進めています。RNAを介して遺伝子のコピーが生じる現象に注目し、ヒトの祖先(霊長類)のゲノムに誕生した若い遺伝子の機能を探り、また植物で遺伝子生成の原動力となっている転移因子の探索も行っています。実験か理論(コンピュータ)のどちらが好きなお人でも歓迎です。

修士論文テーマ例

- 新規エキソコン混成遺伝子PIPSLの機能と進化
- 新生転写調節機構に関するcis制御配列の探索
- 非自律性レトロボソンの増幅を駆動する分子機構の推定

主な進路・就職先… シミック(株)/本学大学院博士課程後期課程/理化学研究所/静岡がんセンター

ゲノム多様性研究室



小倉 淳 教授

キーワード

生命情報、ゲノム、進化、多様性、遺伝子資源

地球上のすべての生命の起源は同じ。すべての生命が有する生命情報であるゲノム情報や発現遺伝子情報の比較から、生命の進化・多様性を探る研究をしています。さらにさまざまな遺伝子資源をもとにした生物の未利用機能を応用した研究開発も行っています。ライフサイエンスとコンピュータサイエンス両方の素養を持ち、論理的思考を行える人材育成をめざします。

修士論文テーマ例

- ゲノム育種手法を応用した新規タンパク質資源としての有用昆虫の育種
- 微生物によるマイクロプラスチック除去機能の利用
- 新規医療用生物由来接着剤の開発とその生物学的獲得機構の解明

主な進路・就職先… 三井情報(株)/(株)大塚商会

生物情報解析学研究室



塩生 真史 教授

キーワード

タンパク質、構造予測、機能予測、機械学習、バーチャルリアリティ

現在、非常に多くのタンパク質の配列情報が蓄積されています。生命現象を理解する上で、それらのタンパク質がどのような機能を持つかを明らかにすることが重要ですが、今日の実験的手法の発展にもかかわらず、機能が不明なタンパク質が数多く残されています。一方で、人工知能の急速な発展により、アミノ酸配列情報から高精度でタンパク質の立体構造が予測できるようになっています。そこで研究室では、さまざまな生物情報の中でも特にタンパク質の立体構造情報に基づいてタンパク質の機能を明らかにすることをめざし、機械学習などの計算科学的手法を使ったタンパク質の機能予測法を開発しています。

修士論文テーマ例

- Functionality estimation of splicing isoforms based on machine learning method
- タンパク質-リガンド相互作用予測法の開発
- 選択的スプライシングによるタンパク質への影響の網羅的解析

主な進路・就職先… (株)NSD/タカラバイオ(株)/フィルジエン(株)/日本コンピュータネットワーク(株)

構造生物学研究室



白井 剛 教授

キーワード

タンパク質データサイエンス、ドラッグデザイン

構造生物学は生体分子の構造から生命を解き明かす学問です。また、データサイエンスは大量情報から自然の仕組みを解析します。この研究室では、構造生物学とデータサイエンスを融合して、タンパク質の構造進化にもとづいたタンパク質工学や創薬の研究を行っています。例えば、失われた古代遺伝子を計算で再現して祖先ホタルの発光色を解析したり、タンパク質の超分子複合体モデルを予測したりすることで、新しい創薬ターゲットの探索やタンパク質の気候変動への適応メカニズムを研究します。

修士論文テーマ例

- 光合成タンパク質の気候変動適応の解析
- 機械学習による抗核ドラッグの探索
- データサイエンスによる新規ドラッグデザイン手法の開発

主な進路・就職先… (株)スズケン/インフォコム(株)/(株)エイコム/ローム(株)/(株)紀文食品/ (株)アーケレイファクトリー/ (株)テクノプロ/ (株)エヌユーエス/アイテック(株)/日本精工(株)

分子生物化学研究室



中村 卓 教授

キーワード

酵素、機能改良、環境改善、有用物質生産、タンパク質工学、コンピュータシミュレーション

酵素は、食品や医薬品、洗剤などに広く使用されているタンパク質です。我々の研究室では、酵素を使った地球環境改善へのアプローチに挑戦しています。自分たちで改良した酵素を利用して環境汚染物質の分解や、医薬品などの有用物質を廃棄物の少ない形で生産する方法を開発しています。また最近では、医薬品や有害な重金属の河川等への排出を抑える技術も開発したいと考えています。

修士論文テーマ例

- 等温滴定カロリメトリーによるハロ酸脱ハロゲン化酵素の反応機構解析
- フルオロ酢酸に対するハロ酸脱ハロゲン化酵素L-DEX YL触媒機構の計算による解析と変異体デザインへの応用
- 微生物由来のシステイン合成酵素のシステイン発酵生産への利用可能性の検証
- 超好熱性古細菌由来システイン合成酵素による非天然アミノ酸の合成

主な進路・就職先… フタムラ化学(株)/クラレプラスチック(株)/和研薬(株)/シミック(株)/長浜バイオ大学/ (株)サンプラネット/セリア新薬工業(株)/Meiji Seikaファルマ(株)/フジノ(株)/第一屋製(株)

生物有機化学研究室



河合 靖 教授

キーワード

機能性物質開発、蛍光プローブ、医薬品開発

生命の謎を解くのに「化学」は強力な武器になります。研究室では新しい蛍光プローブを自らつくり出し、アルツハイマー病など多くの疾病の原因とされているアミロイド線維や、皮膚のメラニン形成が検出できるプローブの開発をめざして研究を進めています。また、植物由来の天然物をつくり替え、機能性食品や医薬品開発につなげています。

修士論文テーマ例

- ビタミン由来の新規蛍光プローブの開発とその生理機能解明への応用
- 生体高分子の構造変化を検出する新規蛍光プローブの開発
- 植物由来テルペン化合物の誘導体化とその生理活性に関する研究

主な進路・就職先… 浜理薬品工業(株)/(株)サンプラネット/住化テクノサービス(株)/日本コルマー(株)/(株)日本予防医学研究所/日本原燃分析(株)/(株)ジャンソン化粧品/(株)岐阜セラック製造所

バイオリボティクス研究室



清水 正宏 教授

キーワード

サイボーグ、生体機械融合システム、筋細胞アクチュエータ、脳オルガノイド、クラゲサイボーグ

ロボット工学は異分野を取り込み、異分野に貢献して発展してきた学問です。我々は、生体と機械を融合したバイオリボットを開発しています。そのためには、生物学とロボット工学を横断的に推進することのできる視点や知見に加え設備も必要となります。当研究室では、研究室内のみで、機械工学的作業から分子生物学的操作までを包括的に取り扱うことができる環境を構築しています。常識にとらわれることなく、技術革新を求め、サイボーグの将来的な社会実装、医療応用をめざしています。

修士論文テーマ例

- 自発的に駆動する脳オルガノイド駆動型サイボーグの開発
- 機械と生体筋組織の融合したロボットの適応的運動発現
- クラゲ遊泳における個体間相互引き込み現象の解析

主な進路・就職先… 修了生は翌年度以降

蛋白質機能解析学研究室



長谷川 慎 教授

キーワード

抗がん剤バイオセンサー、高感度分析、環境技術

ケミカルバイオロジーは、化学と細胞生物学の両方の手法を組み合わせるタンパク質など生体分子の機能を分子レベルで研究する学問です。研究室では、これを基盤に新しい抗がん剤の作用メカニズムの基礎研究のほか、ウイルス検出装置、細胞分離装置、エアロゾル分析装置といった新しい研究機器の開発に挑戦しています。また、実用化のために産学連携の研究開発も積極的にしています。

修士論文テーマ例

- 新規抗がん剤開発を目指したプロテアソーム阻害剤の構造活性相関研究
- 環境微生物から新規抗生物質の探索と構造決定
- ホルモン受容体の新規活性化ペプチドの創出に関する研究

主な進路・就職先… 博士後期課程進学(本学、東京大学)/大和薬品工業(株)/クオリカプス(株)/積水ナノコートテクノロジ(株)/日東メディックス(株)/アルフレックスファーマ(株)/(株)サンプラネット/中北薬品(株)/中外製薬(株)/サラヤ(株)/WDB(株)エウレカ社

生体物質科学研究室



堀部 智久 教授

キーワード

分子シャペロン、発光イメージング、がん、薬剤評価

新たな効能、機能や毒性を評価する薬剤評価は、創薬において欠くことのできない重要なステップであり、新たな評価系を構築することで、トランスレーショナル(橋渡し研究)を促進することにつながると期待されます。当研究室では、分子シャペロンの生体内における機能的役割に焦点を置き、ゼブラフィッシュ、メダカなどの小型魚類および、生物発光を用いた細胞レベルでの新たなイメージング手法による薬剤評価系の構築を目指しています。

修士論文テーマ例

- fluc-GFPバックインメダカを用いたPDI familyタンパク質の生体内における機能的役割に関する研究
- がん微小環境下におけるケミカルシャペロンの細胞外ベシクル産生への影響に関する研究
- 発光イメージングおよび小型魚類を用いた新たな生体発生毒性の評価系構築に関する研究

主な進路・就職先… 東洋ビューティ(株)/(株)リブドゥコーポレーション/WDB(株)エウレカ社/(株)大阪合成有機化学研究所

応用微生物学研究室



向 由起夫 教授

キーワード

酵母、機能未知遺伝子、細胞寿命、醸造酵母

パンや酒の製造に使われる出芽酵母は、ヒト細胞と同じ遺伝子や細胞機能をもつことから、基礎研究に欠かせない真核モデル生物です。酵母がもつ約6,600個のタンパク質遺伝子のうち約700個の機能が不明で、これら未知遺伝子の機能解明は重要な課題です。また、酵母を用いて、細胞の老化や寿命を制御する遺伝子の発見と機能解明に挑戦しています。さらに、企業との共同研究で、醸造に適した酵母の分離に取り組んでいます。

修士論文テーマ例

- 酵母機能未知遺伝子の機能探索
- ポリリン酸による細胞寿命制御メカニズムの解明
- 醸造酵母の探索と育種

主な進路・就職先… 国立長寿医療研究センター/タカラバイオ(株)/バイオ・ラッドラボラトリーズ(株)/インフォコム(株)/湧永製薬(株)/陽進堂/(株)ビジネス情報テクノカールシステムズ/(株)ユーベック/丸千代田水産(株)/カネ美食品(株)

環境合成生物学研究室



石川 聖人 准教授

キーワード

細菌、人工細胞、
バイオプロダクション

合成生物学は、生物の構成要素を部品とみなして生物の代謝経路を設計したり、人工の生物システムを構築したりする学問分野です。バイオ技術は地球規模の問題解決や経済成長の起爆剤となることが期待されていますが、合成生物学は重要分野であると位置づけられています。私達は、微生物工学・遺伝子工学・タンパク質工学を駆使した合成生物学研究を実施することで、環境問題の解決に資するバイオ技術の開発をめざしています。

修士論文テーマ例

- 原料を石油に依存しないタンパク質性繊維の生産
- 人工細胞バイオフィルムの開発
- 細菌のゲノム維持機構に基づいた新規ゲノム操作技術の開発

主な進路・就職先…
修了生は次年度以降

計算構造生物学研究室



依田 隆夫 准教授

キーワード

コンピュータシミュレーション、
抗微生物ペプチド、
蛋白質フォールディング

ヒトの体内には抗微生物ペプチドが多数存在し、その一部は癌細胞やウイルスにも効果があるといわれています。分子の動きをコンピュータで計算して「物理的に正しい」動画をつくる技術(分子動力学法)を用いて抗微生物ペプチドのシミュレーションなどを行い、その働きの解明を進めています。

修士論文テーマ例

- 分子動力学シミュレーションによる、天然変性タンパク質の構造と相互作用の研究
- 分子動力学シミュレーションによる、抗微生物ペプチドの立体構造と作用機構に関する研究
- 分子シミュレーションによる、タンパク質分子複合体形成に関する研究

主な進路・就職先…
IT関連業界／製薬・薬品業界

詳しくは
大学ホームページへ

教員紹介



研究室一覧



タンパク質修飾シグナル研究室



亀村 和生 教授

キーワード
翻訳後修飾、細胞分化、
難治がん、神経難病

細胞の生理的/病理的な変化と密接に関わるタンパク質の翻訳後修飾を研究しています。特に、神経難病や難治がんの原因タンパク質に注目しています。一例として、3大神経変性疾患の一種、前頭側頭葉変性症の原因タンパク質に起こる翻訳後修飾の働きを生化学・細胞生物学的に解析しています。これにより、神経変性症状の1つ、タンパク質の異常凝集体形成の原因究明に貢献しようとしています。

修士論文テーマ例

- FETタンパク質の凝集特性の相違に関する研究
- EWSタンパク質の天然変性領域に存在するO-GlcNAc修飾モチーフの同定と生理機能解析
- 骨芽細胞分化を促進するO-GlcNAc修飾の生理機能解析

主な進路・就職先… (株)ジャパンディスプレイエンジニアリング/アストラゼネカ(株)/和光純薬工業(株)/(株)ヤクルト本社/日本全業工業(株)/協和ファーマケミカル(株)/伊藤ハム(株)/タキイ種苗(株)/(株)近畿予防医学研究所/扶桑薬品工業(株)/協和キリン(株)

食品分子機能学研究室



河内 浩行 教授

キーワード
ビワマス、ペット、食の
安全、琵琶湖固有種

滋質のブランド魚・ビワマスの脂の乗りをよくするための、食品製造副産物などを利用した飼料開発を行っています。またCT装置を用い、いつ筋肉内に脂が乗るのかを調べ、効率のよい飼養管理をめざしています。同時に、食品の偽装表示防止のための琵琶湖固有種を対象とした種判別法の開発、ペットの肥満軽減を目的としたペットフードの開発も計画しています。

修士論文テーマ例

- ビワマスの筋肉内脂肪のCTを用いた評価
- 様々な食品に対するPPARαおよびβ活性化能の検討
- 琵琶湖固有種ニゴロブナ我真贋判定法

主な進路・就職先… 皇漢堂製薬(株)/新日本化学工業(株)/佐藤薬品工業(株)/日本農産工業(株)/(株)アワーズ/グリーンアニマル(株)/ファロスファーム(株)/イオンペット(株)/ペットライン(株)/中部飼料(株)

環境分子応答学研究室



池内 俊貴 准教授

キーワード
環境ホルモン、組み換え
細胞による測定

環境中には、ホルモンのような働きをし生物に悪影響を及ぼすと危惧されているものがあります。研究室では、魚類を用いた環境問題解決に挑戦。内分泌攪乱物質と水環境をテーマに据え、内分泌攪乱の影響を受けやすい魚類を選び、その作用機構を分子レベルで探索。特に、生殖に対する影響に焦点を当てた研究を行っています。

修士論文テーマ例

- メダカミネラルコルチコイド受容体の機能に関する研究
- メダカにおけるビタミンD受容体系攪乱に関する研究
- ドーパミン受容体D2a系攪乱物質の検出細胞の樹立とそれを用いた低分子化合物のスクリーニング

主な進路・就職先… 滋賀県製薬(株)/(株)ウエルク/森永乳業(株)/旭金属工業(株)/金星薬品工業(株)/美濃酪農農業協同組合連合会/バイオ科学(株)/NOVAホールディングス(株)

細胞工学的研究室



小宮 徹 准教授

キーワード
ミトコンドリア、細胞死、
細胞内エネルギー代謝

細胞内小器官の一つであるミトコンドリアは、エネルギーを産生する呼吸の場であるとともに、細胞死にも深く関わっています。本研究室では、「ミトコンドリアの機能阻害によって誘導される細胞死の分子機構」と、そのような「細胞死が、どのような細胞内代謝の変化によって抑制されるか」、解明するための研究を行っています。細胞死を誘導する分子機構と、それを抑制する分子機構の双方を解明することによって、より効果的ながん治療薬の開発をめざします。

修士論文テーマ例

- 酸化ストレスによって誘導される細胞死のメカニズム
- 細胞内エネルギー代謝の調節と細胞死の関係についての解析
- ミトコンドリアへのタンパク輸送のメカニズム

主な進路・就職先… (株)テクノプロ/一丸ファルコス(株)/一般社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム/(株)イナテック

進化生理学研究室



齋藤 茂 准教授

キーワード
温度・化学受容体、電
気生理学

動物は進化の長い歴史のなかで生命活動に大きな影響を与える環境の温度を感じ取り、その変化に対応する仕組みを発達させてきました。環境の温度受容に欠かせない「温度感覚」が進化の過程でどのような変化を遂げてきたのか、また、その変化を生み出した生息地の環境要因に興味を持ち、さまざまな動物種を対象に野外調査から研究室での分子レベルの実験まで多様な手法を用いた研究を進めています。

修士論文テーマ例

- 両生類やサケ科魚類の温度応答行動や温度センサー分子の比較
- 温度センサー機能の進化的変化を生み出す分子メカニズムの探究
- 温度センサー遺伝子を破壊したカエルの行動解析
- 野外調査による繁殖時期や生息環境が異なる両生類種の比較

主な進路・就職先… 修了生は翌年度以降

植物遺伝学研究室



今村(陣田) 綾 講師

キーワード
植物ホルモン、分化、デ
ンブ、イネ、アイスプラント、
ウキクサ

中枢神経をもたない植物は種々の栄養分や植物ホルモンにより器官間でコミュニケーションをとり個体を維持しています。成長時の器官形成もこれらがシグナルの一つとなって調節しています。本研究室ではシロイヌナズナ、イネを用いてサイトカイニンなどの植物ホルモンが維管束形成や器官の再分化を行う時の調節機構に着目して研究しています。また、アイスプラントの有用物質の代謝の改良、ウキクサのバイオリクターとしての利用を目指した研究も進めています。

修士論文テーマ例

- 冠根、不定根形成におけるCK情報伝達因子RR1の機能解析
- アイスプラントのピニトール代謝経路の解析
- ウキクサのデンブ蓄積における葉酸の関与についての研究
- エチレン様作用を示す化合物の作用機作の研究

主な進路・就職先… アビ(株)/イカリ消毒(株)/トヨタネ(株)/新江州(株)/パナソニック環境エンジニアリング(株)/アドバンテック(株)/タキイ種苗(株)/藤本製薬(株)/積水工業(株)/ありだ農業協同組合/(株)第一化成/三栄源エフ・エフ・アイ(株)/(株)たねや

動物生理学研究室



永井 信夫 教授

キーワード
病態モデル、線溶系

脳梗塞、糖尿病網膜症、皮膚疾患などの病態モデルマウスを用いて、疾病の形成メカニズムを解明することをめざしています。また、新規のマウス病態モデルの確立も行っています。

修士論文テーマ例

- 脳梗塞における血管透過性亢進メカニズムの検討
- 糖尿病網膜症における活性酸素種の寄与

主な進路・就職先… 東和薬品(株)/(株)カネカメディックス/日本全業工業(株)(ゼノアック)/新日本化学工業(株)/タカラバイオ(株)/(株)Mizkan/(株)浜松ファーマリサーチ

エピジェネティック制御学研究室



中村 肇伸 教授

キーワード
全能性細胞、iPS細胞、
再生医療

精子と卵子は受精後に初期化という過程を経て、すべての種類の細胞に分化することができる「全能性」を再び獲得します。私たちは、受精卵が全能性を獲得する分子機構の解明について研究を進めています。また、その研究成果は再生医療実現に向けた高品質な幹細胞の作製法開発に応用できると期待されています。

修士論文テーマ例

- 全能性細胞の可視化と全能性幹細胞の樹立
- 全能性細胞で特異的に発現するTrim61の機能解析
- 全能性細胞特異的遺伝子を用いた高品質iPS細胞の作製

主な進路・就職先… タカラバイオ(株)/シミック(株)/(株)アイコン・ジャパン/ツキオカフィルム製薬(株)/リアロダクシオン/グリエック大阪/木下レディースクリニック/医療法人オウケ会/越田クリニック

オルガネラ構造機能研究室



奈良 篤樹 教授

キーワード
抗がん剤、コレステロール
輸送機構

すべての細胞には、機能分子を選別して、その分子が機能する場所にまで輸送するシステムが備わっています。研究室では、その細胞内での物質輸送の分子機構のメカニズムについて探索しています。主に、抗がん剤ドキシソルピシン排除機構の解析と、コレステロール輸送機構の解明をテーマに据え、研究を進めています。

修士論文テーマ例

- 薬剤耐性細胞を用いたドキシソルピシン排出に伴うオートファジー関連因子Atg5の関与
- エンドソームタンパク質MLN64ノックダウン細胞を用いた低密度リポタンパク質LDLの細胞内輸送の解析

主な進路・就職先… エイツヘルスケア(株)/(株)ジャパン・ディスプレイ・エンジニアリング/滋賀県製薬(株)/(株)ジョイフル/アース環境サービス(株)

機能診断学研究室



山本 哲志 准教授

キーワード
デュシェンヌ型筋ジストロ
フィー、心電図検査、心機
能低下

デュシェンヌ型筋ジストロフィーは14歳で症例の半数に心機能低下がみられる疾患で、心機能低下は左室後壁(背面)から始まります。心機能低下の評価は心エコー図検査が主流ですが、種々の制限があり随時に検査を行えません。心電図検査は多くの施設で随時行える検査で、本研究室では通常の心電図に加え背面の電極を有する18誘導心電図も用いて心機能低下と心電図変化の関係を明らかにし、得られた知見を積極的に公開します。

修士論文テーマ例

- 心電図変化と心機能低下の関連
- 遺伝子変異と心電図変化の関連
- 他の筋疾患と心電図変化の比較

主な進路・就職先… 修了生は次年度以降

比較動物学研究室



和田 修一 准教授

キーワード
ストレス応答、発生、多
様性

環境の悪化に対し生物が行う反応を、ストレス応答と呼びます。従来、ストレス応答の研究では、大腸菌や酵母などのモデルを使い、多くの生物に共通した仕組みが研究されてきました。それに対し本研究室では、ホヤ、ブラナリアなどの無脊椎動物を用いて、動物界でのストレス応答の仕組みの多様性を調べています。また、多環芳香族炭化水素などの環境汚染物質がホヤの発生に与える影響についての研究や、野生の無脊椎動物の遺伝的多様性の研究も行っています。

修士論文テーマ例

- ブラナリアの低酸素応答
- ブラナリアの分子シャペロン遺伝子の解析
- ホヤの発生におけるヒストン修飾因子の解析

主な進路・就職先… 農業生産法人わかば農園(株)/(株)テクノプロ・R&D社/イカリ消毒(株)/(株)千成亭

免疫内分泌学研究室



小川 秀一郎 講師

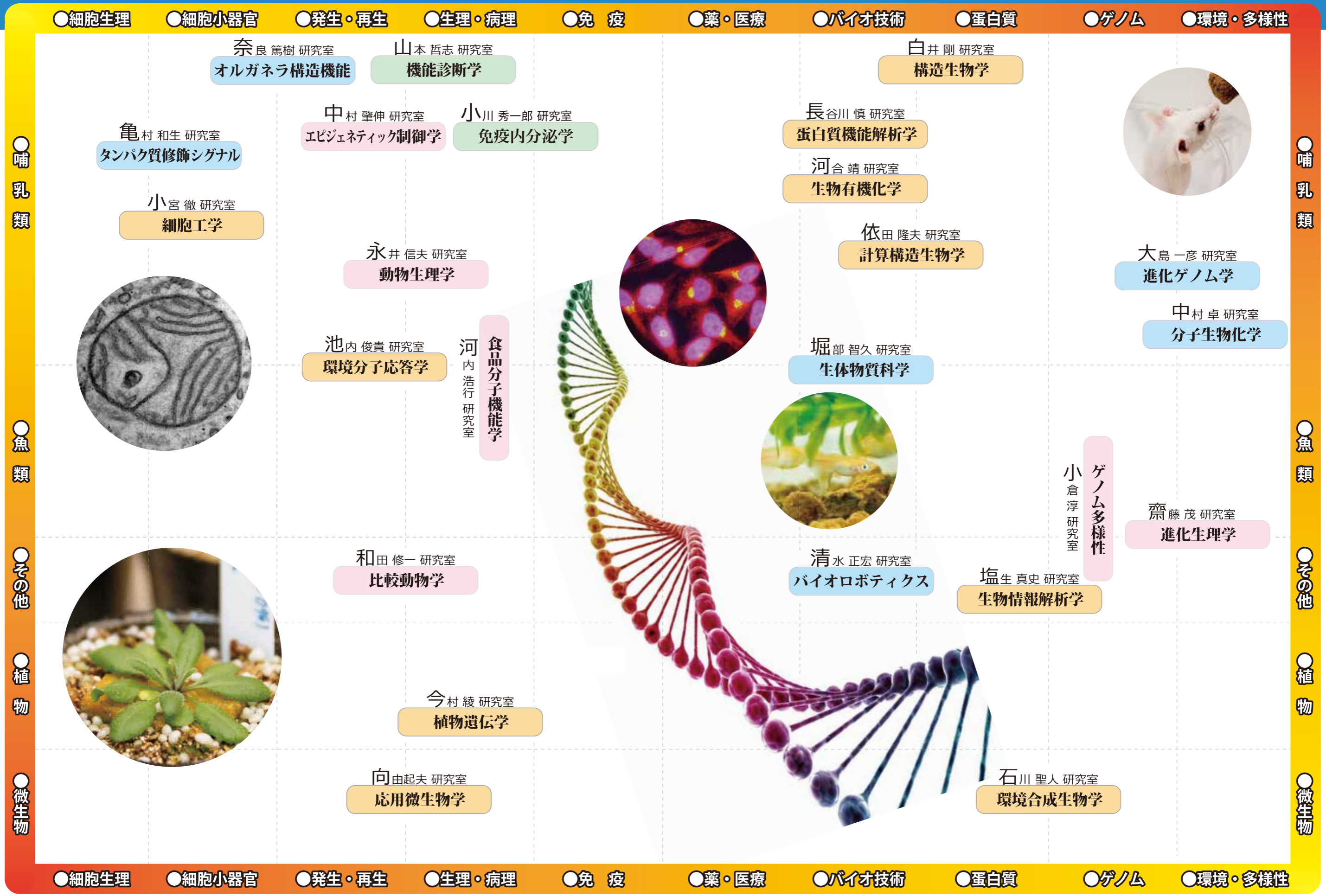
キーワード
下垂体、自然炎症、マク
ロファージ

下垂体(Pituitary gland)は内分泌器官の中核として全身の標的臓器へホルモンを分泌し、糖代謝・脂質代謝など様々な生理機能を統御している。当研究室では下垂体におけるホルモン分泌機構の解析、炎症の発生メカニズムについて探求する。近年がん治療薬として使用される免疫チェックポイント阻害剤の投与により生じるirAE(免疫関連有害事象)の原因解明にも寄与することを目標に掲げる。

修士論文テーマ例

- 下垂体における炎症制御機構の解析

主な進路・就職先… 修了生は翌年度以降



学費・奨学金制度

別冊子「2027年度入学試験要項」をご請求の上、必ず御覧ください。

納入金(入学金・学費)

(単位:円)

	入学金	授業料	教育充実費	計
前期分(入学時)	200,000	400,000	100,000	700,000
後期分		400,000	100,000	500,000
年間合計	200,000	800,000	200,000	1,200,000

※ 学内進学入学試験合格者は、入学金(20万円)が免除されます。

※ 初年度、その他納付金として学生生活支援費(前期課程20,000円)(後期課程30,000円)と保護者会費(前期課程のみ10,000円・代理徴収)が別途必要です。

主な経済援助政策

日本学生支援機構大学院奨学金(外国人留学生を除く)〈予定〉

区分	月額貸与額
第一種(無利子)	博士課程前期課程 50,000円・88,000円から選択 / 博士課程後期課程 80,000円・122,000円から選択
第二種(有利子)	50,000円・80,000円・100,000円・130,000円・150,000円より選択
授業料後払い制度(無利子)	(博士課程前期課程のみ対象) 授業料の貸与:776,000円(年間) 生活費の貸与:20,000円・40,000円より選択(受けないことも可)

※ 奨学金は必ず採用されるとは限りません。

※ 第一種奨学金と授業料後払い制度は、貸与終了時に「特に優れた業績による返還免除」に申請することができます。

長浜バイオ大学サポーター奨学金(外国人留学生を除く)

学業成績優秀者に対して、本学をサポートしていただいている企業など(サポーター)が、学習・研究活動の奨励、経済的負担の軽減を目的で設ける給付型(月額20,000円、1年間給付)の奨学金制度です。学業成績優秀者を対象として学内にて審査の上、サポーターと協議の上決定します。

長浜バイオ大学大学院学内奨学金(外国人留学生を除く)

人数	月額給付額	備考
若干名	30,000円	入学時に公募(給付期間:1年間)

私費外国人留学生対象

①私費外国人留学生学費減免制度

外国人留学生として本学大学院に入学する場合、申請・審査の上認められた場合、入学金免除と授業料30万円を減免します。

②長浜バイオ大学大学院私費外国人留学生特別奨学金

人数	月額給付額	備考
若干名	25,000円	入学時に公募(給付期間:1年間)

③学外奨学金制度

各種奨学金財団等から、毎年度募集依頼がありますので、大学院を通じ推薦します。

(例) 日本学生支援機構私費外国人留学生学習奨励費 平和中島財団外国人留学生奨学金
ロータリー-米山記念奨学会奨学金 文部科学省国費外国人留学生 等

手厚い修学支援

「大学院に進学したいけれど、これ以上 親に負担をかけるわけにはいかない。」

そのような思いを持つ学生の皆さんに、本学の修学支援制度について知ってもらいたいことがあります。

TA(ティーチング・アシスタント)

上限30万円/年 (2,500円/コマ、半期上限60コマ、1コマは90分)

博士課程前期課程に在学する大学院生が授業の教育的補助業務を行うことにより、学部学生等に対してより高い教育効果を上げるとともに、博士課程前期課程在学中にTAを経験することによって、教育・研究の指導者となるためのトレーニング、そして経済的支援をうけることを目的とした制度です。

RA(リサーチ・アシスタント)

上限50万円/年

本学の教員等が研究代表者として行う特定の課題やテーマに取り組む研究プロジェクト等の効果的推進、研究体制充実および若手研究者の育成を図るため、博士課程後期課程に在学する大学院生を対象として設けており、RAは研究活動に必要な補助業務を行います。これにより研究力の更なる向上を図り、また経済的支援をうけることを目的としています。

本学独自の給付型奨学金

学業成績優秀者に対して、

●長浜バイオ大学大学院・学内奨学金 [月額3万円、1年間給付]

入学試験においての成績、大学院在籍時の成績、研究成果等を学内で審査・選考の上、推薦・決定します。

●長浜バイオ大学サポーター奨学金 [月額2万円、1年間給付]

本学をサポートしていただいている企業等(サポーター)が、学修・研究活動の奨励、経済的負担の軽減を目的として設けている給付型の奨学金制度です。学内にて審査・選考の上、サポーターと協議の上決定します。

●長浜バイオ大学学費支援奨学金 [20万円を支給]

家計状況により、修学が困難となっている学生を経済的に支援するための、創立10周年記念募金を基金とした奨学金です。審査・選考により認められた学生に対して支給します。

●長浜バイオ大学家計急変奨学金 [30万円を支給]

入学以降に生じた家計急変事由により、修学が困難となった学生を経済的に援助するための奨学金です。審査・選考により認められた学生に対して支給します。

